

岐阜県立土岐商業高等学校

学 校 長 林 宏 一 郎
学校所在地 土岐市土岐津町土岐口1259-1
電 話 0572-54-1291

1 会議の名称 岐阜県立土岐商業高等学校 学校評議員の会（第2回）

2 会議の構成（敬称略／50音順）

委員	安藤 裕美	土岐地区更生保護女性会理事
	犬塚 和代	元土岐商業高校育友会役員
	中村 達男	東海旅客鉄道株式会社 土岐市駅長
	山野 日出光	土岐市土岐口財産区議長
	竹下 啓太	名古屋工学院専門学校メディア学部部長

学校側	校 長	林 宏一郎
	教 頭	花 田 耕 司
	事 務 長	中 野 善 孝
	教 務 主 任	林 勇 二
	生徒指導主事	澤 野 敏 勝
	進路指導主事	高 田 昌 史
	教 務 部 広 報	成 瀬 典 子
	（ 記 録 ）	野 村 茉 椰

3 会議の目的

学校運営や教育活動等について地域の有識者や関係機関・団体等の代表者から幅広く意見を聞き、地域社会からの支援・協力を得て、開かれた特色ある学校づくりを推進し、生徒の健やかな成長を図る。

4 会議の開催 日 時 平成27年1月28日(水) 13:30 ~ 15:00

場 所 土岐商業高等学校校長室

出席者 委員5名 学校側8名 計13名が参加

* 学校長の挨拶後、本校の教育について説明し、意見交換を行った。

5 会議の概要

テーマ（1）本校の教育について（本年度の成果と課題）

各分掌（教務部、生徒指導部、進路指導部、商業部）より本年度の成果と課題についての説明を行った。その主な内容は下記のとおりである。

（1）教務部

（ア）基礎的・基本的な学力の定着

- ①授業力・授業の質向上のため、授業力自己診断シートを各教員が実施し、その項目の一部を授業の課題として実践した。
- ②基礎的・基本的な学力を定着させるため、適度な宿題の提示・家庭学習の習慣定着を図っている。

（イ）特色ある学校・学科作りの推進

- ①来年度1年生の商業科の授業を1単位増加することで卒業までに全員が全商検定1級3種目取得を目標とする。

（ウ）積極的な広報活動の展開

- ①23校の中学校を訪問し、高校説明会を実施した。
- ②中学生一日体験入学を行い、学科の説明、体験授業を実施した。参加者の86%以上が商業高校を理解できた、参加して良かったと評価していただいた。
- ③11校の中学校から保護者が来校し、授業を見学していただいた。

（エ）校務の効率化と情報の共有化

- ①「e-教務」の導入による運用と改善を行っている。

（2）生徒指導部

（ア）交通事故の現状について

自転車通学者の免許制の導入も検討していかなければならない。

（イ）遅刻について

昨年より大幅に減少。3年連続減少を目指して取り組んでいる。

（ウ）身だしなみ・挨拶について

身だしなみに関しては昨年よりも再指導の数は減っており、職員で徹底した指導を行っている。しっかりとした挨拶ができていない生徒もいるので、正しい挨拶ができるように指導が必要である。

（エ）問題行動の現状について

情報モラルに関する指導を行っているが、改善できない生徒もいるので来年度は違った取り組みが必要である。

（オ）教育相談の現状について

教育相談会議を週に1回実施している。また年3回、教育相談アンケートを実施している。

（カ）MSリーダーズについて

MSリーダーズの活動に対して、外部からも内部からも高評価をいただいている。

（キ）部活動の成績について

陸上競技部やウェイトリフティング部、弓道部、簿記部、珠算部が全国で活躍している。

(3) 進路指導部

(ア) 今年度の進路状況

- ①求人数が529社、623名という多くの求人をいただくことができた。
- ②県内就職者54名、県外就職者31名であり、地元志向がみられる。

(イ) 今年度の就職者内定企業等

- ①85名の内定をいただくことができた。
- ②大手企業や地元企業への内定者を多く輩出できた。
- ③公務員に4名合格することができた。(昨年度0名)

(ウ) 今年度の進学者合格状況

- ①国公立大学に4名合格
- ②全商協会推薦、岐阜県校長会推薦で大学に4名合格
- ③看護系の大学、専門学校に11名合格

(エ) 次年度の課題

①就職

- ・求人を確保する。
- ・一次試験の不採用者を減少させる。
- ・公務員試験の合格率を上げる。

②進学

- ・「読む力」「書く力」「話す力」を伸ばす。
- ・実用英語検定2級または準2級＋日商簿記検定2級を到達目標に設定する。

テーマ(2)：意見交換・質疑応答

意見1：すごく努力されていることが伝わってきた。なぜ志望者が少ないのか不思議だ。

回答1：新聞等で紹介されることが多くなったことで、優秀じゃないと土岐商には受からないのではないかという先入観も中学校の先生だけでなく生徒にも与えてしまっている。また普通科志向が強くなってきていることも原因の一つだと考えられている。しかし、本校から有名大学に入る生徒もおり、また専門性を高校で身に付けたことで、大学では進学校出身の生徒より本校の生徒の方が成績が良くなるという逆転現象もみられているという。そういう部分をもっとアピールしていかなければならないと思っている。

意見2：自己診断シートを使って、先生方自身の授業力を評価し、改善しようとしていることを知り、前向きでよい取り組みであると思った。

意見3：部活の魅力をもっと伝えてほしい。

意見4：土岐商生と関わった企画を行いたいと考えているが、「前向きに引き受けてくれるだろうか」と不安に考えている人もいる。地元の人と触れ合う機会をもっと取り入れてほしい。

回答2：今年は地場産業を学び、そこからグローバルについて考えていくという授業を取り入れている。

このような授業を取り入れることで、グローバル（グローバル＋ローカル）な知識・考え方を身に付けさせたい。また、部活に関しては「つらいことはやりたくない」という考え方が入学生の中に多くなってきており、なかなか部活を前面にはアピールできない部分もある。

意見5：やはり土岐商の部活は強いことが分かった。先生方も頑張っているし、またそれに生徒たちもしっかりついていっているということを感じた。

意見6：土岐市駅を利用する土岐商生に対して服装が悪いという印象はない。しっかり指導されていると思う。

意見7：日商簿記検定1級を目指してよく学び、取得したことはすごい。将来働くうえで必ず力になるのでどんどん伸ばし、合格させていってほしいと思う。

意見8：私が土岐商にいたころよりも生徒のレベルが上がっていると感じた。先生方の指導の成果ではないか。

意見9：「宣伝を」と言われるが、なかなか私たちもその機会がない。やはり生徒の活動が一番の宣伝になるのではないだろうか。部活等の活躍はもちろんだが、地元の方々と触れ合うときにもっと生徒が参加し、活躍できるようにしてみてもどうか。

回答3：生徒の活動をもっと見ていただけるように、生徒の活動を示した看板を立ててはどうかと考えている。予算等を考えながら検討中であるが、来年度の始めには立てられるように調整している。

意見10：インターやアウトレットの近くであるという土地柄を生かして土岐商を宣伝するためにも看板というのはいい方法だと思う。

意見11：岐阜県は商業に関して全国ではトップレベルであり、その中で土岐商がトップレベルというのは素晴らしいことであるが、それが本当に他に伝わっているのか疑問である。

意見12：スマホ等が普及しているので情報モラルに関する事例はこれからもっと増えると考えられる。これは生徒が悪いわけではなく、それに対する知識がないからである。情報関係の部の生徒がそれについて勉強し、全校生徒に働きかけていくのもいいのではないだろうか。

6 会議のまとめ

評議委員の皆様には、ご多用の中、本校のためにお時間をさいいただき、また建設的なご意見、提言をいただき、ありがとうございました。

今回まとめた課題と皆様からいただいたアドバイスをもとに地域に根付き、地元の中学生をはじめとしたたくさんの方々が必要とされる学校づくりに励んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。